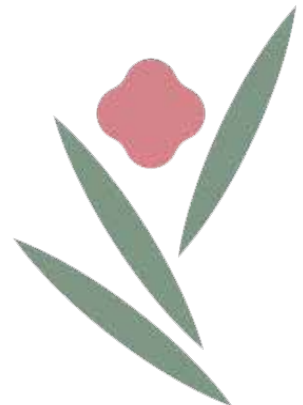


# 本学の教育

2020



福島学院大学  
大学院・福祉学部・短期大学部



本学は、創立者 菅野慶助先生の信念である  
「真心こそすべてのすべて」  
を建学の精神としています。

# 本学の校章とイメージマーク



## ●校章

昭和41年に本学教授、山川忠義氏により制作されました。

月桂樹の葉をデザイン化したものです。学生の皆さんが勉学に励み、社会に出て活躍し月桂冠を授けられるような人になってほしいとの願いが込められています。



## ●イメージマーク

「真心」をイメージしたイメージマークで、本学の出版物の他、封筒や本学関係のグッズに使用しています。



## ●エンブレム

エンブレムは英文名刺や海外向け文書など、海外（外国）向けツールに使用するものです。

## 本学の教育 目次

	本学の校章とイメージマーク	2
I	福島学院の目的	4
II	福島学院大学の教育の理念	5
III	本学が目指す教育	7
IV	本学の教養教育の特色	10
V	本学の運営職制	13
VI	福島学院の沿革	15
	第1校歌	19
	第2校歌	20

# I 福島学院の目的

本学院は学院の設置目的を「教育基本法及び学校教育法に基づき、学校教育を行い、創立者の信念である「真心こそすべてのすべて」という建学の精神に沿って、真心と思いやりを涵養し、社会に有用な人材の育成を図ることを目的とする。」と定めております。

また、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づく保育を行い、地域社会の子育て支援に貢献するものとする。」としております。

## 福島学院の設置する学部等

本学院は次の学科等を設置しています。なお、※を付した学科等は、福島駅前キャンパスに設置しています。

福島学院大学 大学院心理学研究科  
臨床心理学専攻 ※

福祉学部  
福祉心理学科 ※  
こども学科

短期大学部  
保育学科  
食物栄養学科  
情報ビジネス学科 ※

## 福島学院大学認定こども園

認定こども園は、大学設置基準及び短期大学設置基準に定める教員養成にかかる学科の附属施設として、並びに指定保育士養成施設指定及び運営基準に定める保育士養成にかかる学科の保育実習施設として設置しているものです。

## II 福島学院大学の教育の理念

本学は教養教育・専門教育を行うことを通じて、感銘と感動を与え、知的好奇心を喚起する授業の実施を目指しています。

また、自らの人生をより創造的に生きようとする学生を支援していくことを目指しています。

本学が教養教育と専門教育と学生生活の支援を通して、育成しようとする人間像は次のとおりです。

**(1) 真心を持って人に接し、人の立場を考えて行動できるひとを育てます**

真心は人間社会を築く礎であり、人間関係の基本です。

心のこもった対応や接遇を心掛け、相手や他人の立場を理解しようとする謙虚さを失うことなく行動ができる人間を育成します。

**(2) 夢とロマンを胸に、自らの人生を創造的に生きようとするひとを育てます**

夢をもって生きること、ロマンを求めて生きること、その実現に努力すること、それは自らの青春を美しく磨くことです。

**(3) 的確な判断ができ、自らの知識と技能を生かして社会に貢献できるひとを育てます**

的確な判断は、現代社会に必要な知識と教養の獲得と、社会のいろいろな人との多様な人間関係の錬磨の中から生まれてくるものです。自らの知識を深め、自らの技能を高めて、社会に貢献できる人材の育成につとめます。

**(4) 国際的な視野に立ち、多様性を理解し、相互理解の心を持つひとを育てます**

情報は一瞬にして世界を駆け巡ります。世界は日本に、日本はまた世界へ影響を与えます。国際的な視野に立って相手のことを考えることのできる人間の育成につとめます。

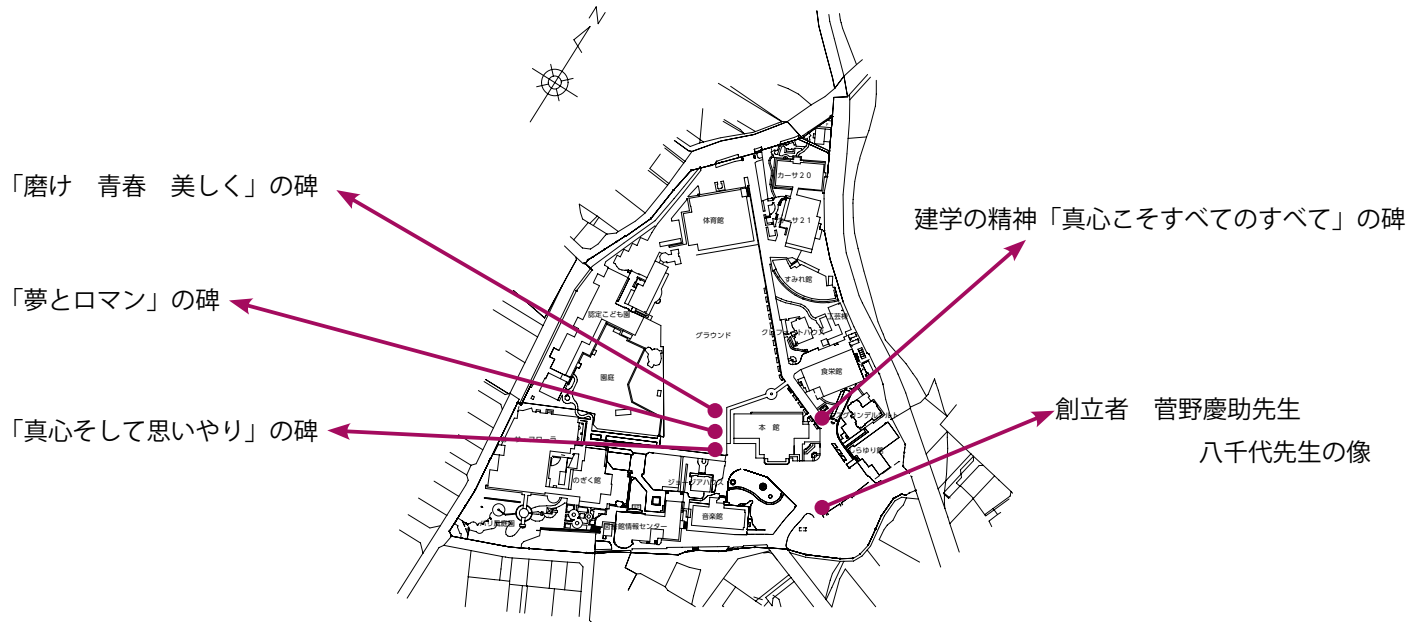
**(5) 感銘と感動を素直に表現できる人を育てます**

感銘と感動ある人生ほど素晴らしいものではありません。

一つひとつの発見や驚きが、人生に若さと新鮮さを与えてくれます。

そうした「ひとを育てる教育」でありたいと考えます。

## 福島学院大学 宮代キャンパス モニュメント ロケーション



「真心そして思いやり」の碑 - (宮代キャンパス れんが通り)

# III 本学が目指す教育

## 1. 到達目標の設定

本学では、教育の目的及び理念、そして育成しようとする人間像に沿って、本学の全授業について、各々その到達目標を定めることとしています。

授業科目毎に次の7項目のうちから、その授業が目指す到達目標を定めて、その実現を図っていかうとするものです。

- A 知識
- B 技能
- C 論理的思考力
- D 文章・身体・感性等に関する表現力
- E 課題対処力
- F 多様性の理解力
- G 対人関係構築力

その授業の到達目標に沿って、その授業成績の評価を各教員が行うこととしています。

## 2. 魅力ある授業を求めて

本学では、より知的好奇心の向上や、感銘と感動ある授業により近づけられるよう、教員には次の10項目のうち5を含む3つ以上のアクティブラーニングを授業計画（シラバス）に盛り込むよう定めています。

1. TV映像や教材映像を利活用した視聴覚に訴える教育方法
2. 適宜意見を述べさせる教育方法、またはプレゼンテーションを行わせる教育方法
3. ディスカッション又はディベートを導入した教育方法
4. 授業の内容と関係するゲストスピーカーを招聘し、または現場（イベントを含む）を訪問する教育方法
5. 事前に課題を与え、授業中に発表させる教育方法、またはレポートを提出させ発表させる教育方法
6. グループワークを活用し、自主性、協調性を育てる教育方法
7. プロジェクトを与えて企画や実施および評価を行う教育方法
8. ケーススタディーを導入し、実践的思考力を高める教育方法
9. 特定の日にフィールドワークを実施し、体験を深める教育方法
10. 授業に関連する外部の研修に参加させ、外部者とともに学ばせる教育方法



このアクティブラーニングの方法（授業方法）は、各学科の授業計画（シラバス）の中に記載していますので、よく確認するようにしてください。

また、次のような形態の授業は禁止しています。

1. 講義一辺倒で、学生の質問や意見を有効に提起させる方法をとらない授業
2. ほとんど教科書や配布資料を読み上げるか、単にその解釈に終始する授業、もしくは教科書や配布資料を学生に読み上げさせる授業
3. 板書の多い授業
4. パワーポイントの説明に終始する授業、及びパワーポイントの字が細かすぎて読めない授業
5. 学生の反応に無頓着な授業

### **3. 授業の改善に役立てるための授業アンケート**

本学では、授業をより魅力あるものとしていくため、学生の皆さんに授業アンケートへの協力を求めています。

#### **全授業対象授業評価アンケート**

前期と後期の授業最終日にすべての授業（前期は前期開講授業、後期は後期開講授業と通年授業が対象）で学生による授業評価調査を行います。この調査は Web で実施し、記名式です。

### **4. 学業成績の評価は総合的に評価**

本学では教員に授業成績の評価を、期末試験のみで行うことを禁止しています。

各学科、各授業科目毎の授業計画（シラバス）に記載された到達度の評価（評価方法・評価基準）及び補足的対応措置（加減点制）に留意すると共に、授業が活性化するように、学生の皆さんのご協力をお願いします。

なお、成績について、万一疑問がある場合は、教務課、又は駅前キャンパス事務室へお問い合わせください。

あるいは担当教員に直接質問しても結構です。要望があれば成績評価の算出資料を開示することとしています。

## 5. 他学科の科目履修

本学は、他の学科（大学および短期大学部）で開講する授業科目について、履修することも歓迎します。教養を広げることや専門を深めるために、より選択肢を広げて、様々な自分の可能性にチャレンジしてください。

他学科の科目履修は、履修届出の際に一緒に届出が可能です。

## 6. アカデミアコンソーシアムふくしま加盟校による単位互換

福島県内の国公立の全大学が加盟する「アカデミアコンソーシアムふくしま」という組織があります。

学生の皆さんに、県内他大学での科目履修も推奨しています。希望者は教務課又は駅前キャンパス事務室で、履修方法をお尋ねください。各大学が開講している授業をお知らせします。

授業料（科目履修料）は無料となります。ただし、当該大学への交通費の負担は自己負担となります。取得単位は本学の単位として認定されます。

## IV 本学の教養教育の特色

### 1. 「本学の教育」

真心と思いやりは、人間社会を築く礎であり、人間関係の基本です。

建学の精神、教育の理念、本学の教育方針等を理解していただくために、全学1年次生必修の「**本学の教育**」(1単位)を設けています。前期の土曜日4日間(1回2コマ)を設定し、計8コマの授業を実施します。

授業は宮代キャンパスのカーサフローラ、千葉記念ホールで行います。

この授業は、本学が目指す教育の「まごころ、思いやりの発現力と夢や希望の発信力」を到達目標として実施しています。

### 2. 「生活教養」

人間関係構築の基本となるものは、まずは挨拶、そして心のこもった対応です。

本学ではエチケットマナーや、社会人としての常識を学ぶ「**生活教養**」の授業を必修としています。この授業は、人間関係及び対人関係構築力の向上を目的として開設しています。

### 3. 「文章表現」

本学ではまた、人間関係、対人関係の基本となる文章表現力の向上を目指しています。そのために「**文章表現**」を必須としています。

なお、この科目のアクティブラーニング化、及び授業成果の可視化の一環として、後期にはクラスのグループ毎に、ニュース記事、取材記事等を、署名入りで掲載する学生新聞的広報誌を編集、発行することとします。

原則として、学内に配布し、授業の成果をアピールしてもらうこととなります。

また、文部科学省が進める授業の成果のアセスメントテスト～外部評価テストとして、外部機関である特定非営利法人日本語検定委員会の「日本語検定」試験を受験することとしています。本学を試験会場として、11月に3級(高校卒業レベル・社会人初級レベル)に挑戦します。

この試験結果は成績にも反映されます。このテストは100点満点で、80点以上が3級合格、80点未満70点以上の場合、「準」3級合格となります。

受験料は、令和2年度は本学が負担します。詳しくは授業のシラバスをご覧ください。評価点の配分も確認してください。

#### 4. 「会話表現」

本学では学生の皆さんの表現力向上のために「**会話表現**」を必須としています。(ただし、一部学科では名称が異なります。)この科目は、学生として、また社会人として、また人間関係の基本としても必須のものと考えています。

対話やプレゼンテーション能力を磨き、時にビデオ録画をして自分の声や、発音の明瞭さや、イントネーションを確認します。

最終的には、グループ毎にスマートフォンやビデオ機材で、本学のスタジオ等を利用して、ニュース番組やバラエティー番組を自ら、出演、編集、制作します。そして、学内放送で放映するなど、アクティブラーニング化と授業の成果の可視化を図ります。学生の皆さんの自己点検にも利用します。

#### 5. 情報教養教育

現代社会で必須の習熟度別「**情報機器操作**」の科目の他に、情報教養分野に**スマートフォン活用法**、**スマートフォンのモラルとリスク**、**ウェブ動画制作**を、食物栄養学科と情報ビジネス学科を除き、新たに設けています。

デジタルネイティブである学生の皆さんへ、職場でのスマートフォン活用法や、園だより作成法や、職場のホームページへの活用法の他、ソーシャルネットワークのリスクも取り上げていきます。是非こうした科目を利用してください。

#### 6. 現代的な教養科目

現代教養科目として、また現代理解の科目として、新たに「**テレビ報道に見る現代理解**」や「**現代人間関係論**」や教養演習など、タイムリーに現代社会の理解を図る科目や、図れる科目を設けています。他学科科目でも履修が可能ですので、検討してください。

現代社会の知識の獲得は、適確な判断力を養うことに通じると考えています。

また、福祉心理学科では、人間関係や現代社会を肌で感じることができるよう「**地域ボランティア活動**」もしくは「**地域振興活動**」のいずれかを必修として履修することとしています。

#### 7. 現代理解、地域理解の一環としてのボランティア活動

各学科の学生の皆さんにも、色々な人たちとの交流を深めるため、ボランティア活動参加を奨励しています。市内大学生が協力して行う「キッズ博」、駅前キャンパスに面して行われる国道13号線沿道での夏まつりわらじ祭りや、パセオ通り側での七夕祭り、そして10月の神社の例大祭での山車の運行協力参加など多彩です。現代社会の諸相を肌で感じて、人間関係の構築力や対話力を磨いてください。

## 8. 種目選択制体育実技

体育実技は、生涯に亘るスポーツに少しでも繋がられるよう、原則5種目の選択制体育実技を行っています。若い時代に是非、社会に出ても必要な体力と健康力アップに取り組んでください。

## 9. 国際理解教育

国際理解分野では、福祉学部では国際理解論と国際理解演習（海外研修）、短期大学部では国際理解演習（海外研修）を設置しています。

国際的な視野に立って相手のことを理解すること、海外に出てその国の人々をその目で見て、耳で聞き、肌で感じる事が、人生に大きく役立つと思います。人によっては人生観が変わる良い経験になると思います。

令和2年度は、「バリダンスレッスンとバリ島幼稚園交流」、極小国家シンガポールの繁栄の謎を探る「シンガポール研修」を予定しています。各学科の学生の参加が可能です。

詳しくはシラバスでご確認ください。



シンガポールのシンボル、マリーナイオン公園にて。	ポッカ・シンガポールの工場見学。
	JTB・シンガポールにて。



バリ島ケランピタン王国での宮殿ウエディングを体験。学生が花嫁、花婿に扮したバリの王室伝統のウエディングは、総勢200名の村人参加で絢爛豪華の一言。	バリ島ナイトクルーズの船上でのひとコマ。現地のダンサーと踊りでコミュニケーション。
---	---



## V 本学の運営職制

福島学院大学・大学院及び短期大学部の教育管理職制、及び運営職制は次のとおりです。

学生の皆さんは、相談事があれば、自由に声をかけて下さい。また教員は、全員オフィスアワー（学生との自由面会時間）を設けています。研究室を是非たずねてみてください。

福島学院大学学長・

福島学院大学短期大学部学長

桜田葉子（教授）

福島学院大学副学長（大学研究推進担当）

星野仁彦（教授）

福島学院大学・短期大学部副学長（研究倫理担当）

梅宮れいか（教授）

福島学院大学・短期大学部副学長（教学改革担当）

沢良子（教授）

図書館情報センター館長

梅宮れいか（教授）

〃 副館長（映像制作担当）

菅田清正（教授）

学生部長

柴田大輔（専任）

学生副部長

八木孝憲（講師）

【福祉学部】

福祉学部長

田辺稔（教授）

【大学院心理学研究科】

大学院心理学研究科長

田辺稔（教授）

大学院心理学研究科臨床心理学専攻主任

佐藤佑貴（准教授）

【福祉学部：福祉心理学科】

福祉心理学科長	日 下 輝 美 (教授)
福祉心理学科主任	遠 藤 寿 海 (教授)
福祉心理学科学生主任	齊 藤 隆 之 (准教授)
福祉心理学科実習指導室長	齊 藤 隆 之 (准教授)
福祉心理学科キャリア支援室長	北 本 明日香 (講師)

【福祉学部：こども学科】

こども学科長	今 清 孝 (教授)
こども学科主任	島 田 貴 広 (准教授)
こども学科学生主任	鈴 木 美 樹 (准教授)

【短期大学部：保育学科】

保育学科長	渡 辺 雅 子 (教授)
保育学科主任	中 野 真 樹 (准教授)
保育学科学生主任	関 本 仁 (講師)
*保育学科計画履修生担当主任	藤 本 要 (准教授)

【こども学科・保育学科共通】

こども学科実習指導室長	今 清 孝 (教授)
保育学科実習指導室長	鈴 木 智 子 (准教授)
こども学科キャリア支援室長	渡 辺 博 志 (教授)
保育学科キャリア支援室長	高 橋 雄 二 (講師)

【短期大学部：食物栄養学科】

食物栄養学科長	桑 田 彰 (教授)
食物栄養学科主任兼キャリア支援担当	佐 藤 る美子 (講師)

【短期大学部：情報ビジネス学科】

情報ビジネス学科長	木 村 信 綱 (教授)
情報ビジネス学科主任兼学生主任	鈴 木 忠 雄 (教授)
情報ビジネス学科キャリア支援室長	小 松 由 美 (教授)



# VI 福島学院の沿革

## 本学院の発祥

本学院は、1941年（昭和16年）2月15日に、菅野八千代先生が福島県の認可を得て設立した福島高等洋裁学院がその発祥です。

菅野八千代先生は、杉野ドレスメーカー女学院や、山脇服飾美術学院で学び、東北の洋装文化の発展のために、福島市栄町（福島駅前地区）に学校を開設したものです。

1945年（昭和20年）代、女性の自立に繋がる洋裁を志す女性は多く、福島県内に4校の分教場を設け、各地でファッションショーを開催して、地域の洋装文化の向上に努められました。また、服飾デザイナーとして、日本デザイン文化協会の全国ファッションショーや洋装誌に数多く先生は作品を出品しました。

福島高等洋裁学院は、1949年（昭和24年）財団法人となり、官立福島師範学校教員であった夫である菅野慶助先生も経営をバックアップし、その後1976年（昭和51年3月）、学校法人福島ドレスメーカー専門学校となりました。

卒業生は、2万人を超えましたが、1985年（昭和60年）4月から、当時の福島女子短期大学服飾美術科にその伝統を引き継ぎました。

## 福島女子短期大学の設立(現. 福島学院大学短期大学部)

菅野慶助先生が1963年（昭和38年）から高等教育機関を設立するための検討と準備を行い、1965年（昭和40年）度に保育科の設置認可申請をし、1966年（昭和41年）度に福島女子短期大学（現. 短期大学部）を開設しました。

現在の学科は、保育学科、食物栄養学科、情報ビジネス学科の3学科構成となっています。



新装になった栄町校舎（昭和18年）



保原分教場を開設（昭和21年）

写真は昭和22年第1期卒業生



福島公会堂でのファッションショー（昭和25年頃）



創立者 菅野 慶助 先生 菅野 八千代 先生 両先生の胸像

宮代キャンパス 八千草門横に設置されています。



## 福島学院大学の設立

2001年（平成13年）度開設の福島学院短期大学福祉心理科をベースとして、3代目理事長菅野英孝先生が、2003年（平成15年）度に福祉学部福祉心理学科を開設しました。

2015年（平成27年）度、幼稚園教諭第1種免許状を取得できる、こども学科を増設しています。

## 福島駅前キャンパスの開設

2002年（平成14年）12月に福島市の要請があり、また福島市及び福島県の財政支援のもとに、2006年（平成18年）1月に福島市の中心部の本町に、日本で最初となる分団地キャンパスの福島駅前キャンパスを開設し、4月から福祉心理学科の3～4年次生と短期大学部情報ビジネス科新生からが、このキャンパスに移行しました。翌年は情報ビジネス科が2学年とも、このキャンパスで学んでいます。

なお、2011年（平成23年）度からは、東日本大震災で宮代キャンパスが被害を受けたことから、福祉心理学科1～2年次生も、駅前キャンパスに移行し、1～4年次生が同じ駅前キャンパスで学ぶことになりました。

## 大学院の設置

福島学院大学大学院は、2007年（平成19年）度に臨床心理学研究科臨床心理学専攻を開設しました。

そのあと、2013年（平成25年）度に、こども心理専攻を増設しました。その際、研究科名を心理学研究科と名称変更しました。



建学の精神の碑 昭和55年に旧本館正面玄関前に設置されましたが、新本館竣工後は、新本館東側に移設されました。



13号線側からの福島駅前キャンパス



大学院心理学研究科が福島駅前キャンパスに誕生しました。

## 心理臨床相談センターの設置

大学院の附属心理臨床相談センターは、2001年（平成13年）度に、短期大学に福祉心理科（現、大学福祉心理学科）を増設した際、児童青年期の方々やその家族を主な対象として、充分時間をかけてメンタルヘルス相談を行うためのメンタルヘルスセンターがその始まりです。

当初、心理臨床相談センターは、宮代キャンパスのハウスグリンデルワルトで外部クライアントを対象に相談を受けていましたが、2006年（平成18年）度、福島駅前キャンパス開設と同時に、設備が整った駅前キャンパス3階に移りました。

現在、大学院附属の心理臨床相談センターとして、9名の本学教員が相談にあっており、本県内外の数多くの利用者、及び本学学生の利用者、そして種々の共済組合の公務員や民間の企業、病院等職員の方々のメンタルヘルスサポート機関として、地域に大いに貢献しております。

また、公認心理師や、臨床心理士を目指す大学院生の臨床実習の場としても利用されています。



当初心理臨床相談センターが設けられた宮代キャンパスのハウスグリンデルワルト。



駅前キャンパス3階に設けられている心理臨床相談センターは、地域の心の健康にも貢献しています。

## 福島学院大学認定こども園の設置

1974年（昭和49年）から、福島女子短期大学の幼稚園教員養成のための附属施設として、幼稚園が設置されていましたが、新しい認定こども園法（2015年（平成27年）改正）に基づく幼保連携型認定こども園が、2015年（平成27年）度に開設されました。

この認定こども園は、こども学科、保育学科の学生の協力幼稚園教育実習、協力保育園保育実習に出る前の実習トレーニングの場として、基本実習の学生を受け入れております。

なお、この幼保連携認定こども園の発足の前日、2015年（平成27年）3月31日をもって、旧幼稚園は廃止となっております。



宮代キャンパスから見た認定こども園

## 沿 革

昭和 41 年 4 月 1 日	本学開学・保育科開設
昭和 43 年 4 月 1 日	服飾美術科、食物栄養科開設
昭和 46 年 4 月 1 日	保育科第二部開設
昭和 48 年 4 月 1 日	専攻科 (保育専攻) 開設
昭和 49 年 4 月 1 日	福島女子短期大学附属幼稚園開設
昭和 60 年 4 月 1 日	秘書科開設
平成 元 年 4 月 1 日	生活教養科開設 (服飾美術科・学科名変更)
平成 12 年 4 月 1 日	福島学院短期大学に名称変更 (共学化) 生活デザイン科開設 (生活教養科・学科名変更)、情報ビジネスコミュニケーション科開設 (秘書科・学科名変更) 福島学院短期大学附属幼稚園に名称変更
平成 13 年 4 月 1 日	福祉心理科開設 メンタルヘルスセンター開設 専攻科福祉専攻第一部 (介護福祉士養成施設) 開設
平成 14 年 4 月 1 日	情報ビジネス科開設 (情報ビジネスコミュニケーション科・学科名変更)
平成 15 年 4 月 1 日	福島学院大学開学 福祉学部福祉心理学科開設 メンタルヘルスセンターを短期大学から大学附属に移設 福島学院短期大学生活デザイン科、福祉心理科募集停止
平成 16 年 4 月 1 日	福島学院大学短期大学部に名称変更 福島学院大学附属幼稚園に名称変更
平成 18 年 4 月 1 日	福島駅前キャンパス開設 福祉学部 3・4 年次生科目を福島駅前キャンパスにて開講
平成 19 年 4 月 1 日	福島学院大学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻 (修士課程) 開設 大学院附属心理臨床相談センター開設
平成 24 年 4 月 1 日	福島学院大学短期大学部に専攻科臨床栄養専攻及び専攻科情報ビジネス専攻開設
平成 24 年 10 月 1 日	福島学院大学附属幼稚園を幼稚園型認定こども園として運営開始
平成 25 年 4 月 1 日	福島学院大学大学院心理学研究科開設 (臨床心理学研究科・研究科名変更) 大学院心理学研究科にこども心理専攻 (修士課程) 開設
平成 27 年 4 月 1 日	福島学院大学福祉学部にごども学科開設 幼保連携型認定こども園として福島学院大学認定こども園開設
平成 28 年 4 月 1 日	福島学院大学短期大学部 保育科第二部募集停止
平成 29 年 3 月 31 日	福島学院大学短期大学部専攻科福祉専攻第一部、専攻科臨床栄養専攻、専攻科情報ビジネス専攻廃止
平成 29 年 4 月 1 日	福島学院大学短期大学部保育科第一部を保育学科、食物栄養科を食物栄養学科、情報ビジネス科を情報ビジネス学科に学科名変更
平成 30 年 3 月 31 日	福島学院大学短期大学部 保育科第二部 廃止 メンタルヘルスセンターを大学院附属心理臨床相談センターに統合
令和 2 年 3 月 31 日	大学院心理学研究科にこども心理専攻 (修士課程) 廃止



---

## 第一校歌 輝くあなたへ

作詞・作曲 水谷晃子

---



がんばって夢かなえて!!  
ロマン求めて 旅立つあなた  
思い切り自分を生きたいと  
自分を好きなら わかってほしいと  
あなたはそう云っていたよね

さびしい気持も もちろんするけれど  
それを消すような  
もっと 大きな何かをつかんでね  
がんばって夢かなえて  
苦しくて つらいのは  
夢に近づいてる 証拠だから  
がんばって夢かなえて  
あなたならできる  
素敵な人だから あなたは輝ける

がんばって夢かなえて  
会えなくてつらいのは  
みんなもだと思っから  
がんばって夢かなえて  
私がついてる  
真心を込めて あなたに伝えたい

夢に疲れて  
戻ったあなたに  
言いたい言葉も見つからない  
自分はきつと普通の人だと  
誰もが云うような弱音だね

言われた人の気持を覚えて?  
それを乗り越えて  
もっと 大きな何かをみつけてね  
がんばって夢かなえて  
あなたの行く手に  
幸(しあわせ)あれと 願っから  
がんばって夢かなえて  
信じているから あなたならできる  
もうすぐ輝ける

がんばって夢かなえて  
会えなくてつらいのは  
みんなもだと思っから  
がんばって夢かなえて  
私がついてる  
真心を込めて あなたに伝えたい



第二校歌 ここで手に入れたもの

作詞・作曲 水谷晃子



君の笑顔で僕がどんなに幸せになれるかわかるかな？  
小さな声で言ってくれた 『がんばれ！』は宝物さ

ロマンを持って生きてゆける人になりなさい、と  
あの人は言っていた

夢を夢で終わらせない強さここで手に入れた  
悔しさを優しさに変えて 真心を手に入れた  
そして僕は未来を恐れることなく  
いつでも 輝きつつける

僕ので君を幸せにできたらいいのにな  
青く澄んだ空からこの場所を 見てみたいな

答えはいつもすべこは出ない  
だからおもしろい  
がんばれていることが うれしい

夢を夢で終わらせない強さここで手に入れた  
苦しさを楽しさに変えて 真心を手に入れた  
そして僕は今を大事にしなから  
未来へ 輝きつつける

夢を夢で終わらせない強さここで手に入れた  
悔しさを優しさに変えて 真心を手に入れた  
そして僕は未来を恐れることなく  
いつでも 輝きつつける



# 本学の教育

---

2020年4月1日 発行

学校法人 福島学院

〒960-0181 福島県福島市宮代乳児池1-1

電話 024-553-3221

